

「得意なこと」を伸ばそう！

「一学期がスタートして二週間がたちました。『実りの秋』」充実する学期
「多くの行事」と、子供達の成長を願う二学期です。

な、その二学期のスタート「始業式」で、得意なことを伸ばしてほ
いという願いを込めて、『ハンカチ理論』の話をしました。ハンカチを一枚
広げたものを「自分の力」だと考えます。そのハンカチの端（苦手）をが
んばって引っ張り上げようとすると、ハンカチ全てを持ち上げるには、かなり
高く持ち上げなくてははいけません。エネルギーを多く使います。しかし、ハ
ンカチの真ん中（得意なこと）をつまんで持ち上げると、ハンカチの端（苦
手）も徐々に上がっていき、全て持ち上げるのにも、高く上げる必要はあり
ません。これは、苦手なことにはがんばって取り組むことも大事だけど、得意
なことを伸ばしながら苦手を克服するがんばり方もあることを示したも
です。私たちは、多く子供達の「マイナス＝苦手」な部分を見てしまい、注
意して、それを克服させることは十分に力をつき込んでしまいがちです。す
ると、子供達は「やる気」が出てきません。子供達の「プラス＝得意なこと」
に目を向け、そこを褒めながら、得意なことをもっと伸ばしていけるような
声かけも忘れてはいけません。

一方、「じゃあ、得意なこと・好きなことばかりさせたら、うちの子はケ
ームばかりしてしまいますよ。」という声も挙がってきています。そこで、始業
式の『ハンカチ理論』の話の最後に次のようなことも話をしました。でも、
いくら「得意なこと」を伸ばすといっても、得意なことだけしているとい
うなると思いますか。例えば、ハンカチの真ん中を針のようなもので下から持
ち上げると、ハンカチに穴が開いて、ハンカチ全部は持ち上がりません。し
かし、指でつまむようにして持ち上げると、ハンカチ全体が持ち上がります。
つまり、得意なことをいっしょにか伸ばそうとする必要も「自分の力」全体が伸びて
くると思えます。

一年のうちで成長の一著しい二学期だともいわれています。「子供達の
力」を可能な限り伸ばす意味でも、保護者・地域の方にも、子供達のよいと
ころ・得意なところを見ていただくことも、しっかりとそれを認め・褒めてい
ただきたいと思えます。二学期も引き続き、本校への「支援」協力をよろし
くお願いいたします。